

けう けふ	げう	せう	せう でう	てう	ねう	へう	べう	べう	舊 假 名 遣
きよう	ぎよう	じよう	じよう	ちよう	によう	ひよう	びよう	びよう	發 音
きよう	ぎよう	じよう	じよう	ちよう	によう	ひよう	びよう	びよう	新 假 名 遣

めう
れう

みよう
りよう

みよう
りよう

字音の表記に関する通則

第一條 字音の拗音を書くには や、ゆ、よ を右側下に細書する。

たゞし特別の場合にかぎり細書せずとも差支ない。

第二條 字備の促音を書くには つ を右側下に細書する。

たゞし特別の場合にかぎり細書せずとも差支ない。

第三條 字音の ^ウ 列長音は ^ウ 列の假名に ^引 をつけて書く。

第四條 字音の ^オ 列長音は ^オ 列の假名に ^引 をつけて書く。

第五條 字音の ^ウ 列拗音の長音は ^ウ 列拗音の假名に ^引 をつけて書く。

第六條 字音の ^オ 列拗音の長音は ^オ 列拗音の假名に ^引 をつけて書く。

第七條 左の如き語は發音のまゝに書く。

銀杏 ^{ぎんなん}

天皇 ^{てんのう}

三位 ^{さんみ}

第二 く、ぐ は か、が に改める。
屋おく 温おん 穩おん 園おん 遠おん 怨おん

例

一 く を か に改めるもの

化か 貨か 果か 菓か 過か 科か 火か 課か
會かい 悔かい 壞かい 回かい 怪かい 快かい 獲かく 擴かく
活かつ 狛かつ 歡かん 官かん 還かん 貫かん

二 ぐ を が に改めるもの

臥が 瓦が 外がい 月がつ 元げん 丸がん 願がん

第三 ぢ、づ は じ、ず に改める。

例

一 ぢ を じ に改めるもの

持じ 痔じ

軸じく 舳じく 陣じん
女じよ 除じよ 重じゆう 住じゆう 頭じゆう

二 づ を ず に改めるもの

豆ず 頭ず 途ず 圖ず

第四 わ に發音される は は わ に改める。

例

琵琶びわ の 琵琶わ 枇杷わ の 杷わ

第五 ユ の長音に發音される いう、いふ は ゆう に改める。

例

一 いう を ゆう に改めるもの

尤ゆう 又ゆう 友ゆう 幽ゆう 郵ゆう 誘ゆう 由ゆう 有ゆう 遊ゆう 悠ゆう 憂ゆう

二 いふ を ゆう に改めるもの

邑ゆう 揖ゆう

第六

オ列長音に發音される あう、わう、あふ、おふ、は おう に改める。

例

一 あう を おう に改めるもの

鶯おう 櫻おう 鷄おう 央おう 奥おう

二 わう を おう に改めるもの

往おう 王おう 旺おう 皇おう 鳳おう 黄おう 栴おう

三 あふ を おう に改めるもの

凹あふ 押あふ 鴨あふ

四 おふ を おう に改めるもの

凹おふ

第七。オ列長音に發音される かう、くわう、かふ、こふ、は こう に、かう、ぐわう、かふ、こふ

は こう に改める。

例

一 かう を こう に改めるもの

好かう 考かう 向かう 肴かう 香かう 講かう 高かう 糠かう 航かう 幸かう 効かう

江かう 降かう 校かう 行かう

二 くわう を こう に改めるもの

宏くわう 紘くわう 光くわう 廣くわう 黃くわう 皇くわう 惶くわう 荒くわう

三 かふ を こう に改めるもの

甲かふ 岬かふ 闇かふ

四 こふ を こう に改めるもの

劫こふ

五 かう を こう に改めるもの

號かう 郷かう 強かう 豪かう 傲かう

六 ぐわう を こう に改めるもの

轟ぐわう

七 がつ を こう に改めるもの

合がつ

八 ごふ を ごう に改めるもの

劫こ業ごふ

第八。オ列長音に發音される さう、さふ は そう に、さう、さふ は ぞう に改める。

例

一 さう を そう に改めるもの

掃さう

双さう

爪さう

早さう

相さう

倉さう

曹さう

壯さう

操さう

騷さう

爭さう

争さう

争さう

争さう

争さう

争さう

争さう

争さう

争さう

争さう

争さう

争さう

争さう

争さう

二 さふ を ぞう に改めるもの

插さふ

三 ざう を ぞう に改めるもの

造ざう

藏ざう

象ざう

像ざう

四 ざふ を ぞう に改めるもの

雜ざふ

第九。オ列長音に發音される たう、たふ は とう に、だう、だふ は どう に改める。

例

一 たう を とう に改めるもの

刀たう

島たう

討たう

盜たう

打たう

橙たう

糖たう

當たう

湯たう

桃たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

陶たう

二 たふ を どう に改めるもの

答たふ

塔たふ

踏たふ

納たふ

三 だう を どう に改めるもの

道だう

堂だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

棠だう

四 だふ を どう に改めるもの。

納だふ

第十。オ列長音に發音される なう、なふ は のう に改める。

例

一 なう を のう に改めるもの

腦なう

惱なう

惱なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

囊なう

二 なふ を のう に改めるもの

納のちなよ

第十一^〇 オ列長音に發音される はう、はふ、ほふはほう に ばう、ばふ、ぼふはぼう に 改める。

例

一 はう を ほう に改めるもの

報ほう 邦ほう 寶ほう 方ほう 包ほう 保ほう 褒ほう

たゞし蘇枋の枋は發音に従い ほう を おう に改める。

二 はふ 又は ほふ を ほう に改めるもの

法ほふ

三 ばう を ぼう に改めるもの

暴ばう 冒ぼう 坊ぼう 房ぼう 亡ぼう 望ぼう 膨ぼう

四 ばふ 又は ぼふ を ぼう に改めるもの

乏ばふ

第十二^〇 オ列長音に發音される まう は もう に改める。

例

毛もう 孟もう 亡もう 妄もう 盲もう 望もう 網もう

第十三^〇 オ列長音に發音される やう、えう、えふ は よう に改める。

例

一 やう を よう に改めるもの

羊やう 洋やう 様やう 陽やう 楊やう

二 えう を よう に改めるもの

要えう 曜えう 遙えう 謠えう 天えう 幼えう 杏えう

三 えふ を よう に改めるもの

葉えふ

第十四^〇 オ列長音に發音される らう、らふ は ろう に改める。

例

一 らう を ろう に改めるもの

二 老^{らう}を 勞^{らう} 郎^{らう} 廊^{らう}
藕^{らふ} 臘^{らふ} 蠟^{らふ} に改めるもの

第十五 〇 ウ列拗音の長音に發音される きう、きふ、は きう に、ぎう は ぎう に改める。

例

一 きう を きう に改めるもの
休^{きう} 丘^{きう} 廐^{きう} 臼^{きう} 糾^{きう} 久^{きう} 柩^{きう} 仇^{きう} 求^{きう} 朽^{きう}
二 きふ を きう に改めるもの
急^{きふ} 及^{きふ} 吸^{きふ} 級^{きふ} 泣^{きふ} 給^{きふ}
三 ぎう を ぎう に改めるもの。
牛^{ぎう}

第十六 〇 ウ列拗音の長音に發音される しう、しふ は しう に じう、じふ は じう に改める。

例

一 しう を しう に改めるもの
修^{しう} 舟^{しう} 囚^{しう} 秀^{しう} 就^{しう} 收^{しう} 臭^{しう} 秋^{しう} 州^{しう} 會^{しう}
袖^{しう} 聚^{しう} 周^{しう}
二 しふ を しう に改めるもの
拾^{しふ} 執^{しふ} 集^{しふ} 襲^{しふ} 澁^{しふ} 習^{しふ} 輯^{しふ}
三 じう を じう に改めるもの
柔^{じう} 獸^{じう}
四 じふ を じう に改めるもの
十^{じふ} 什^{じふ} 汁^{じふ} 拾^{じふ}

第十七 〇 ウ列拗音の長音に發音される ちう は ちう に改める。

例

第十八 〇 ウ列拗音の長音に發音される にう、にふ は にう に改める。
書^{ちう} 丑^{ちう} 宙^{ちう} 抽^{ちう} 胃^{ちう} 肘^{ちう} 鑄^{ちう}

一 けう を にう に改めるもの

二 にふ を にう に改めるもの

第十九 ウ列拗音の長音に發音される びう は びう に改める。

例

びう

第二十 ウ列拗音の長音に發音される りう、りふ は りう に改める。

例

一 りう を りう に改めるもの

留 柳 流

二 りふ を りう に改めるもの。

立 粒 笠

第二十一 オ列拗音の長音に發音される きう、けう、けふ は きうに、きう、げう、げふは きうに改める。

例

一 きう を きう に改めるもの

杏 驚 狂 兄 競 鏡 強 京 經 郷

二 けう を きう に改めるもの

校 教 喬 橋

三 けふ を きう に改めるもの

脅 協 夾 俠

四 ぎう を きう に改めるもの

仰 行 形 刑

五 げう を きう に改めるもの

堯 曉

六 げふをぎうに改めるもの

業ぎやう

第二十二 〇オ列拗音の長音に發音される しう、せう、せふはしうに、じやうちやうせう、
でう、でふはじうに改める。

列

一 しやうをしうに改めるもの

相しやう 正しやう 商しやう 詳しやう 傷しやう 省しやう 生しやう 唱しやう 將しやう 尙しやう
聖しやう 章しやう 掌しやう

二 せうをしうに改めるもの

笑せう 尙せう 招せう 燒せう 消せう 詔せう 小せう 確せう 照せう 少せう

三 せふをしうに改めるもの

妾せふ 捷せふ 涉せふ

四 じやうをじうに改めるもの

上じやう 情じやう 淨じやう 狀じやう 讓じやう 成じやう 城じやう 常じやう

五 ちやうをじうに改めるもの

場ちやう 娘ちやう 釀ちやう 丈ちやう 杖ちやう 定ちやう 錠ちやう

六 せうをじうに改めるもの

擾せう 饒せう

七 でうをじうに改めるもの

条でう 嫻でう

八 でふをじうに改めるもの

帖でふ 墨でふ

第二十三 〇オ列拗音の長音に發音される ちやう、てう、てふはちうに改める

例

一 ちやうをちうに改めるもの

停ちやう 提ちやう 丁ちやう 町ちやう 挺ちやう 長ちやう 腸ちやう 聽ちやう

二 てうをちうに改めるもの

吊てう 鳥てう 朝てう 兆てう 超てう 調てう 彫てう

三 てふ を ちよう に改めるもの

帖ちようてふ 蝶ちようてふ 牒ちようてふ

第二十四 オ列拗音の長音に發音される ねう は にう に改める。

例

尿によう 饒によう 遠によう 饒によう

第二十五 オ列拗音の長音に發音される ひう、へう は ひうに、びう、べう は びうに改める。

例

一 びう を ひう に改めるもの

兵ひよう 平ひよう 評ひよう

二 へう を ひう に改めるもの

電ひよう 表ひよう 俵ひよう 票ひよう 豹ひよう

三 びう を びう に改めるもの

屏びよう 病びよう 鉦びよう

四 べう を びう に改めるもの

苗びよう 描びよう 猫びよう 眇びよう 廟びよう

第二十六 オ列拗音の長音に發音される みう、めう は みう に改める

例

一 みう を みう に改めるもの

明みよう 命みよう 冥みよう 名みよう 茗みよう

二 めう を みう に改めるもの

妙みよう 苗みよう 猫みよう

第二十七 オ列拗音の長音に發音される りう、れう、れふ は りう に改める

例

一 りう を りう に改めるもの

良りよう 兩りよう 亮りよう 令りよう 領りよう 涼りよう 諒りよう 量りよう 梁りよう

二 れう を りう に改めるもの

聊りよう 料りよう 了りよう 僚りよう 寮りよう 寥りよう

三
 れふをりょうに改めるもの
 臘りょう 鬚りょう

新舊假名遣對照表

一

<p>は づ ぢ ぐ く を ゑ ゐ わ わ</p>	<p>舊 假 名 遣</p>
<p>わ す じ が か お え い</p>	<p>發 音</p>
<p>わ す じ が か お え い</p>	<p>新 假 名 遣</p>

らう	やう	まう	ばう	はう	なう	だう	たう	ざう	さう
	えう								
らふ			ばふ	はふ	なふ	だふ	たふ	ざふ	さふ
			ぼふ	ほふ					

ろう	よう	もう	ぼう	ほう	のう	どう	とう	ぞう	そう
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

ろう	よう	もう	ぼう	ほう	のう	どう	とう	ぞう	そう
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

いう	舊
いふ	假
	名
	遣
ゆう	發
	音
ゆう	新
	假
	名
	遣

がう	かう	わう	はう	あう	舊
ぐう	くう				假
					名
がふ	かふ			あふ	遣
ごふ	こふ			おふ	

ごう	こう	おう	發
			音

ごう	こう	おう	新
			假
			名
			遣

常用漢字と其の畧字

漢字が、文字それ自身としての價值の大なることは申すまでもないが、其の數四五萬の多きに上り、字劃の頗る複雑なものもあつて、何等の制限なく自由に流行せしむる事は、言語統一の上から見て、筆寫や印刷能力の上から見て、大に考へなければならぬものがある。茲に於てか文部省國語調査會に於ては、常用漢字及其の畧字なるものを査定し、公用文書をはじめ、可成此の範圍内の文字を使用せしむる事とし、各新聞社も之に賛意を表し、逐次其の實行を誓ふに至つた。左に其の常用漢字を列記する。

文部省國語調査會查定 常用の漢字と畧字

〔一〕一丁七丈三上下不世丙並一〔中〕、丸圭ノ久乏乘乙乙九乞也乳亂
 (乱)了事(二)二云互五井(亡)交京亭(人)イ人仁仇今介仕他付仙代令以
 仰仲件任企伊伏伐休伯伴伺似但位低住佐何佛作余使來(未)例侍供
 侮侯侵依便係促俊俗保俠信修俳俵俸倉個倍倒候借倫併(併)假(假)偉
 偏停健側偶傍傑備催傳債傷傾僅働像僚偽(偽)僧價儀億儉儒償優(儿)
 元兄充兆兇先光兌免兒(兒)兎(入)入内全兩(兩)八(八)公六共兵具典兼(一)
 册再(一)冠(一)冬冷涼准凌凍凝(凡)凡(一)凶凸凹出(刀)刀刃分切刈刊刑列
 初判別利到制刷券刺刻(刺)則削前剛副割創劇劍劑(劑)力(力)功加劣助
 努効勅勇勉動勸務勝勞(勞)募勢勤勳勵(勸)勸(勸)勺(勺)勺(勺)包(ヒ)化北(一)匹

區(十)十千升午半卑卒卓協南博(卜)占(一)印危却卵卷郎卿(一)厄厘厚原
 〔ム〕(去參)參(又)及友反叔取受叛(口)口古句叫召可叱史右司各合吉同
 名后吏吐向君吞吟否含呈吸吹告周味呼命和咽哀品員哲唐唱商問
 啓善喉喜喪單嗣嘉嘗嘗噴器嚴囑(囑)〔一〕因四回因因固國(国)團(團)團
 圓(円)圖(図)團(土)土在地坂均坊坐坑坪垂型垣埋城域執培基堀堂堅堤
 堪報場塔塗塚塵境墓塀(塀)增墨墮壁壇壓壞(土)士壯壹(壹)壽(寿)又(又)夏(夕)
 夕外多夜夢(大)大天太夫央失奇奉奏契奔奢輿奪獎奮(女)女奴好如妃
 妊妙妨妹姉妻妾始姑姓委姦姪姪姻姿威娘娛娠婦婿媒嫁嫉嫌嫡
 孃(子)子字存孝季孤孫學(学)〔一〕宅宇守安完宗官定宛宜客宣室宮宰害
 宴家容宿寄密富寒察寡寢實(寔)審寫(写)寬寶(室)寸(寸)寺封射將專尉尊
 尋對導(小)小少尙(尙)就(尸)尺尼尾尿局居屈屈屋展層履屬(属)山(山)岡岩

岬岳岸岬峯島峽崇崎崩嶮(川州巡集)工左巧巨差(己)巾市布帆
希帖帝帥師席帳帶(帶)常帽幅幕幣(干)千平年幸幹(么)幻幼幾(广)床序底
店府度座庫庭庶康廉廊廟廢(廢)廣廳(廳)延廷建廻(升)弄弊(弋)式(弓)弓
弔引弘弟弱張強彈(彡)形彩影影(彳)役彼往往征待律後徑(徑)徒(徒)得從(從)
御復循徵徵德徹(心)心必忙忌忍志忘快忠念忽性怪怯怒思怠急
怨恨恐恥恩恭息悅悔悟患悼情惜悲惑惠惡情惱(惱)偷想愁意愚愛感
慈態慘(慘)慢慣慨慕慮慰慶愁憂憐憚憤憲憶憾懇應懲懷懸戀(恋)戈(成)
我戒戚戰戲(戲)戴(戶)戶戾房所(手)手打托扱扶批技抑投抗折抱承抵
押抽拂拍拒拓拔拘拙招拜括拾持指拳捌捕捧捨掃授排掘掛採探接
控(扣)推提揚換握揭揮援掌損搖搜携摘摩撫擇(扞)操擔(担)據(璫)擊擬擴
攝(摠)支(支)支(支)收改攻放政故效敍(叙)教敏救敗敢散敬敵數數(數)整(文)

文(斗)斗料斜(斤)斤斥斬新斷(断)方(方)施旅旋族旗(无)既(日)日且旨早旬旭
昇昌明易昔星春昨是時晚晝普景晴晶智暇暖暗暑暮暴曆曇曜(日)曲
更書曹曾替最會(月)月有朋服朕期望朝期(木)木未末本札朱机朽杉李
林村杖束杯束松板枕材枚果枝枯架柿柄某染柔查柩桂柳栗校株根
格栽桃案桐桑桶梅條(条)梨梯械棄棋棒棚棟森棺植楠業極榮(榮)構概
樂(樂)桶樓(樓)標樞模樣(樣)樹橋機橫檄檜檢櫻欄權(權)欠(欠)次欲款欺歌歎
歐歡(歡)止(止)正此步武歲歷歸(歸)夕(夕)死歿殊殉殖殘(殘)段(段)殺殺殿毀
母(母)母每毒(比)比(比)毛(毛)毫(氏)氏民(气)氣(气)水(シ)水(水)水永汁汗汚江池決
汽沈沒冲沙求河沸油治沼沿沉泊法波泣泥注泳泉洋洗津洪洲活派
流浦浪浮浴海浸消涉泰液淑淚淡淨淫深混清淺(淺)添減渡測港渴游
湖湧湯源準溝溢溶溺滅滋滑溫滯(滯)滴滿(滿)漁漂漆漏演漕漠漢漫漸

大正拾四年十一月一日印刷
大正拾四年十一月五日發行

國語國文の常識

定價金壹圓

著作
所權
有

著者 松野又五郎

發行者 林平次郎
東京市日本橋區數寄屋町九番地

印刷者 矢部三代雄
東京市神田區小川町一番地

發行所

東京市日本橋區數寄屋町九番地
振替東京二三七一番

六

合

館

電話穴手七七六番七七九番

三松堂印刷所印刷

531
37

終